

# くまもと森都総合病院が担う 役割について

令和6年2月17日

医療法人創起会 くまもと森都総合病院

院長 鈴島 仁

# ①現状と課題 病院概要

## 主要項目



■所在地：熊本市中央区大江3-2-65

■主な機能：

DPC対象病院 臨床研修病院 救急指定病院

熊本県指定がん診療連携拠点病院 在宅療養支援病院

熊本県肝疾患専門医療機関 日本医療機能評価機構認定病院

紹介受診重点医療機関

■病床数／診療科：199床 ／ 19診療科

再掲) 病床：一般154床 地域包括30床 緩和ケア15床

■平均在院日数：一般7.4日（2023年度11月迄平均）

■職員数：392名（2023年4月1日現在）

再掲) 常勤医35名 非常勤医3名（常勤換算1.6名）

研修医2名

# ①現状と課題 理念・基本方針

## 理念

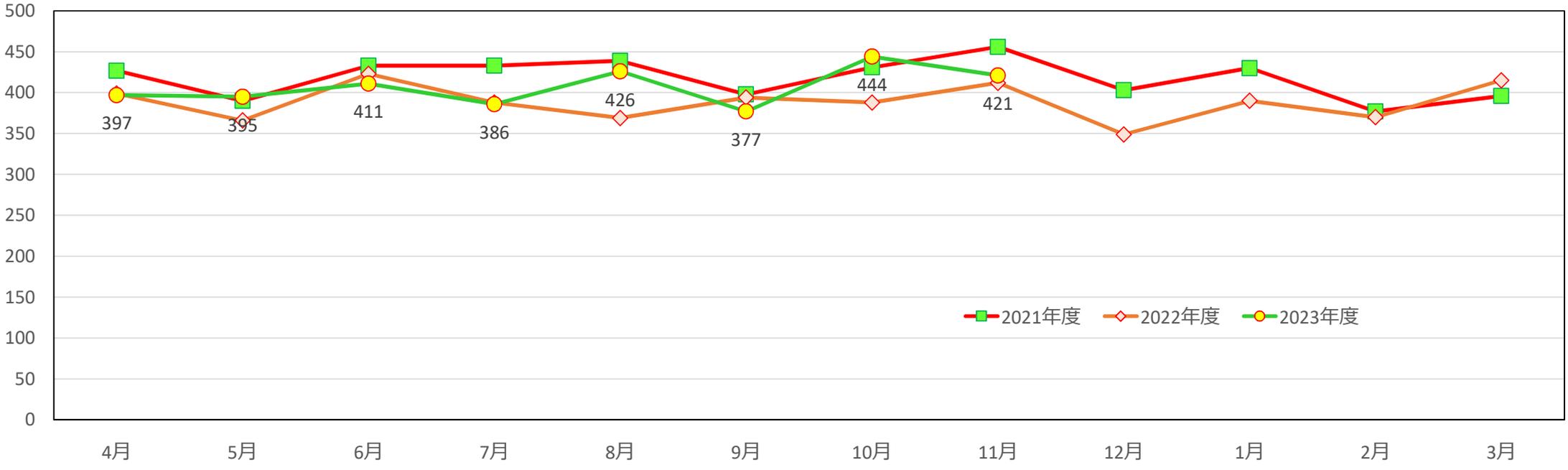
私たち くまもと森都総合病院は、質の高い医療を通じて地域に愛され、親しまれる病院を目指します。

## 基本方針

- 患者さんと良好なパートナーシップを築き、満足度の高い、心かよう医療の提供に努めます。
- 地域医療機関との連携を密にし、地域に根ざした医療サービスを推進します。
- 優れた医療人を育成し、安全で質の高い医療を提供します。

# ①現状と課題 診療実績（新規入院患者数推移）

新規入院患者推移 2021年度～2023年度

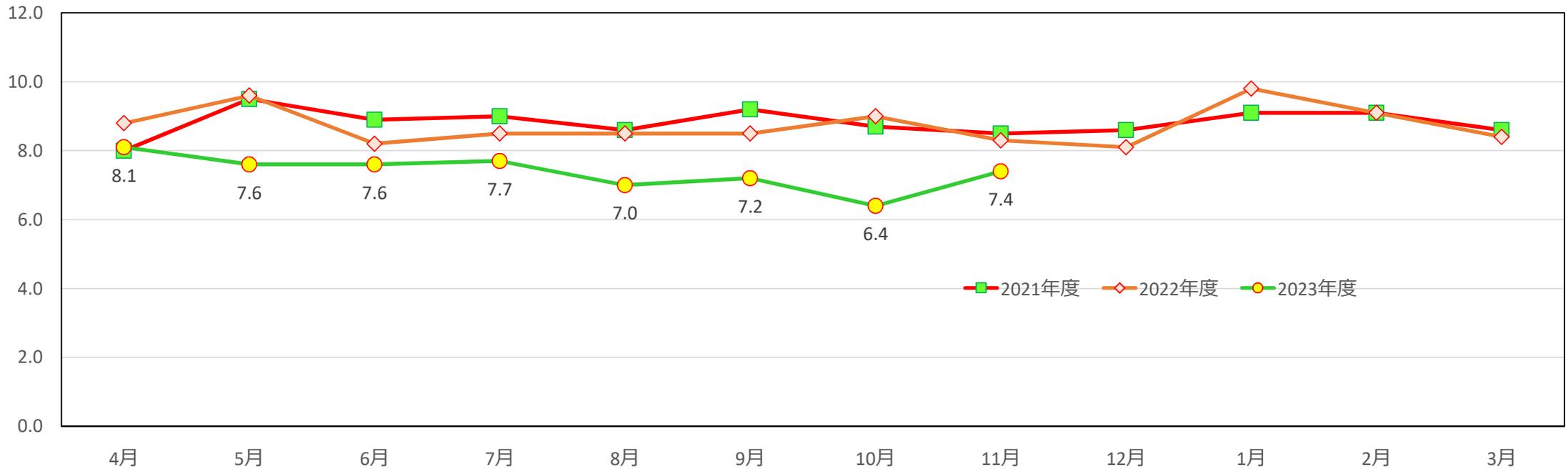


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2021年度	427	390	433	433	439	398	431	456	403	430	377	396
2022年度	399	366	423	388	369	394	388	412	349	390	370	415
2023年度	397	395	411	386	426	377	444	421				

地域包括ケアコロナ専用病床に変更期間

# ①現状と課題 診療実績 (平均在院日数推移)

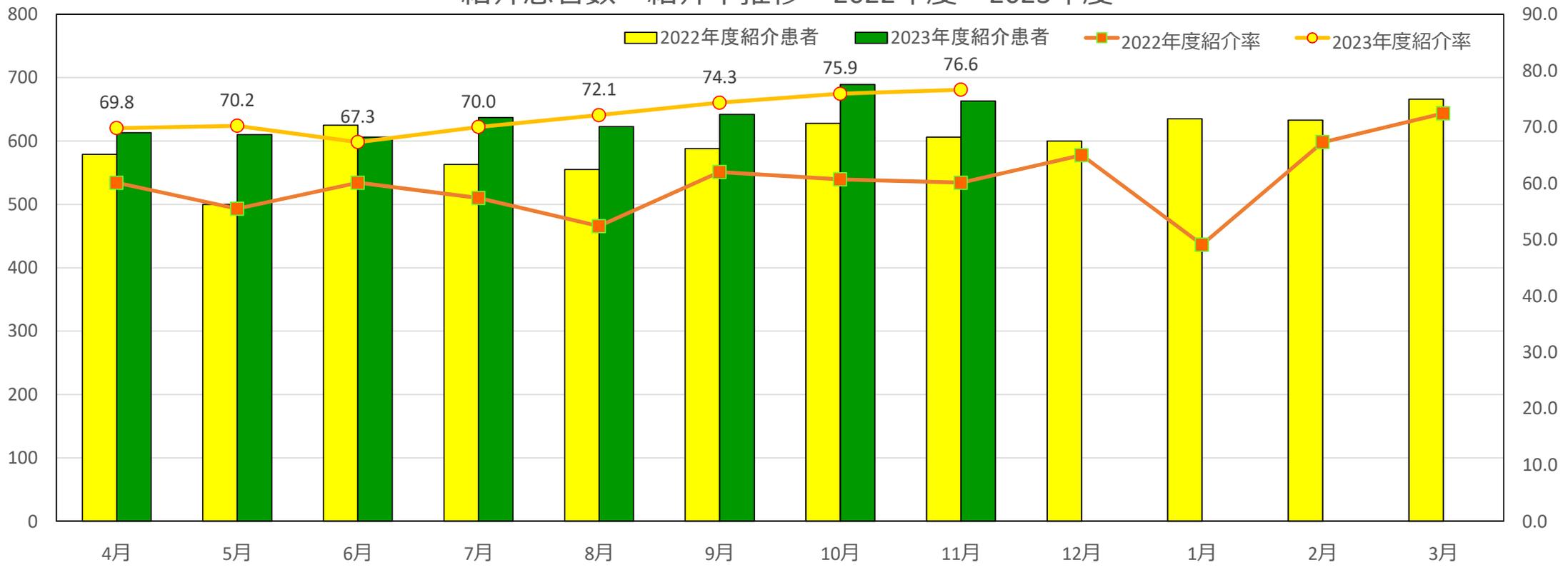
平均在院日数推移 2021年度～2023年度



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2021年度	8.0	9.5	8.9	9.0	8.6	9.2	8.7	8.5	8.6	9.1	9.1	8.6
2022年度	8.8	9.6	8.2	8.5	8.5	8.5	9.0	8.3	8.1	9.8	9.1	8.4
2023年度	8.1	7.6	7.6	7.7	7.0	7.2	6.4	7.4				

# ①現状と課題 診療実績 (紹介患者数・紹介率推移)

紹介患者数・紹介率推移 2022年度～2023年度



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2022年度紹介患者	579	500	625	563	555	588	628	606	600	635	633	666
2022年度紹介率	60.1	55.5	60.1	57.4	52.4	62.0	60.7	60.1	65.0	49.1	67.3	72.4
2023年度紹介患者	613	610	606	637	623	642	689	663				
2023年度紹介率	69.8	70.2	67.3	70.0	72.1	74.3	75.9	76.6				

# ①現状と課題 担う政策医療

熊本県指定がん診療連携拠点病院

## 熊本県指定のがん診療連携拠点病院として

- 質の高いがん医療を提供する体制の確立
- 地域の医療機関との連携を図り、がん診療に従事する医師、コメディカル等に対する研修及び各職種から構成される患者中心のチーム医療の実施
- 地域をはじめとした住民、市民へのがん医療に関する情報提供および相談支援

# ①現状と課題 担う政策医療

熊本県指定がん診療連携拠点病院

## がん診療の充実

- 2人に一人ががんに罹患する時代  
⇒とくに**高齢者がん診療**の適正化
- ゲノム医療への対応
- **治験、臨床試験**の充実：データの創出
- 手術、化学療法などの急性期診療
- ACP（アドバンスケアプランニング）の普及・啓発
- **がんリハビリ**の充実
- 腫瘍精神科中心の**緩和チーム**によるがん患者のメンタル管理

# ①現状と課題 課題への取り組み

## くまもと森都総合病院の取り組み

1. がん診療
2. 急性期、地域の救急医療（総合診療科を中心とした全診療科協力体制）
3. 専門性の提供（多診療科）
4. 地域の医療、介護福祉施設との連携
5. 医療人の育成

# ①現状と課題 課題への取り組み

## くまもと森都総合病院の取り組み

### 1. がん診療

- **乳がん、血液がん**の症例数は県内トップクラスであり、婦人科がん、肝臓・消化器がんの症例数も多く受け入れている。熊本県指定がん診療連携拠点病院としての役割を果たしていく。

# ①現状と課題 課題への取り組み

## くまもと森都総合病院の取り組み

### 2. 急性期・地域の救急医療

- 当院にて治療中の症例の急変時対応はもとより、当院で対応可能な救急症例に対応していく。
- **総合診療科**を中心に多くの診療科が協力して地域の急性期医療に対応していく。

# ①現状と課題 課題への取り組み

## くまもと森都総合病院の取り組み

### 3. 専門性の提供

- 肝臓疾患、リウマチ疾患、婦人科疾患、皮膚疾患、眼科疾患などへの専門性を持った対応で地域から一定の評価を受けており、これを継続する。
- 2023年12月から紹介受診重点医療機関となったため、各診療科とも紹介を受ける外来として今後更なる発展、寄与に努める。

# ①現状と課題 課題への取り組み

## くまもと森都総合病院の取り組み

### 4. 地域の医療、介護福祉施設との連携

- **アドバイザーコミッティ**を開催し、地域の医療機関と意見交換を行いながら連携強化を進めている。
- ケアマネージャーが訪問しやすい環境を整備しており、積極的に**退院前カンファレンス**を行っている。

# ①現状と課題 課題への取り組み

## くまもと森都総合病院の取り組み

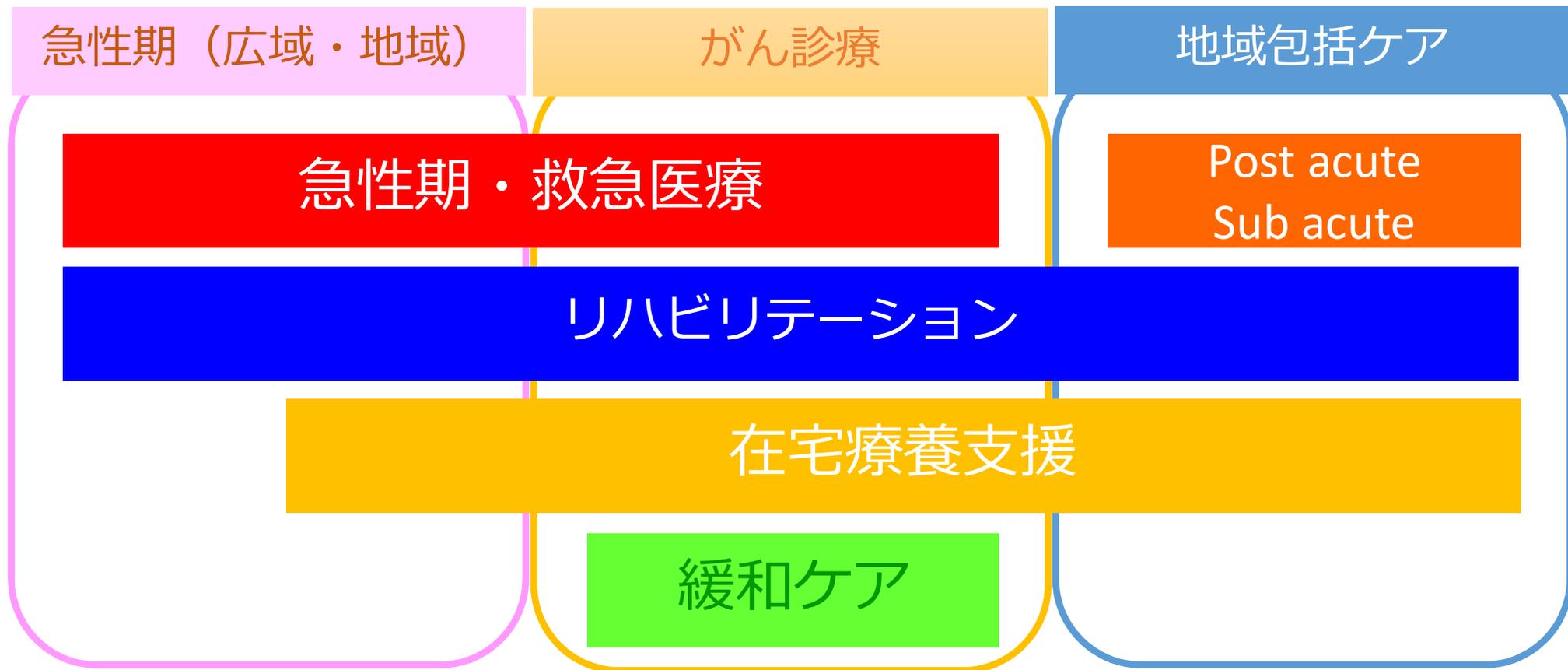
### 5. 医療人の育成

- **熊大臨床教授4名**を中心に全診療科で初期研修医・専攻医教育を行っている。
- 熊大医学部生実習（早期～6年生まで）を積極的に受け入れている。
- 看護師、薬剤師、理学療法士、MSW、栄養士、診療情報管理士を目指す学生の実習を積極的に受け入れている。

## ②今後の方針 地域において今後担うべき役割

1. がん診療 熊本県指定がん診療連携拠点病院
2. 急性期医療（広域・地域）
3. 地域包括ケア Post acute・Sub acute（地域救急）
4. 在宅療養支援 在宅医療支援病院
5. 地域医療を担う人材の育成 臨床研修病院

## ②今後の方針 くまもと森都総合病院の医療提供体制



地域医療を支える医療者の育成

総合病院としての診療体制

# ③具体的な計画 (1) 今後提供する医療機能に関する事項

## 【①4機能ごとの病床のあり方 その1】

病床機能	2023年	2025年	2025年以降
高度急性期			
急性期	154床 (一般病棟)	154床 (一般病棟)	154床 (一般病棟)
回復期	30床 (地域包括ケア病棟)	30床 (地域包括ケア病棟)	30床 (地域包括ケア) 新型コロナウイルス蔓延期 0床
慢性期	15床 (緩和ケア病棟)	15床 (緩和ケア病棟)	15床 (緩和ケア病棟)
新興感染症			10床 (空床補償担保による感染症病棟の運用)
合計	199床	199床	199床 (感染症病棟の運用時は179床)

# ③具体的な計画 (1) 今後提供する医療機能に関する事項

## 【②診療科の見直し】

	現時点 (2023年4月)	2025年	理由・方策
維持	肝臓・消化器内科、総合診療科、血液内科、循環器内科、腎臓内科、リウマチ膠原病内科、外科、皮膚科、眼科、産婦人科、整形外科、乳腺外科、麻酔科、放射線科、緩和ケア科、呼吸器内科、内分泌内科、漢方内科、歯科口腔外科、病理診断科、腫瘍精神科	漢方内科の廃止	熊本医療圏の高齢化に対して多様なニーズに対応できる診療機能の維持の為。
新設		腫瘍内科	がん診療の体制の充実を図る為。
廃止			
変更・統合		整形外科の急性期医療 一時停止	常勤医師が確保できないため

### ③具体的な計画 (2) 数値目標

	2023年度前半	2024年2月 (2/13現在)	2025年
①病床稼働率	70.3%	80.6%	91.0%
②紹介率	75.3%	70.5%	75.5%
③逆紹介率	42.8%	42.5%	43.0%

### ③具体的な計画 (3) 数値目標の達成に向けた取組みと課題

- がん診療体制のさらなる充実（腫瘍内科の充実）
- 専門性を持った医療の提供
- 地域に根差した医療連携の促進（紹介、逆紹介を増やすための顔の見える連携の推進）
- 地域包括ケア病棟、緩和ケア病棟の有効活用
- 医師の確保のための勤務環境改善（宿日直許可の取得、Dx導入による時間外勤務の軽減など）

## ④ その他特記事項

### ■ 災害等の緊急時における病院診療機能の維持

→ 熊本地震から学ぶ教訓

- 2017年4月に新築移転。新病院は**免震構造**となっており、患者の安全と診療機能維持に努める。
- 電子カルテサーバーをデータセンターに配置。 (**クラウド化**) 災害等の緊急時でも患者情報を保全するように配慮。
- 電子カルテシステムへの攻撃に対する対応  
**攻撃型サイバーウイルスに対する教育周知及び訓練**  
サーバーのクラウド化 (カルテデータ保全)